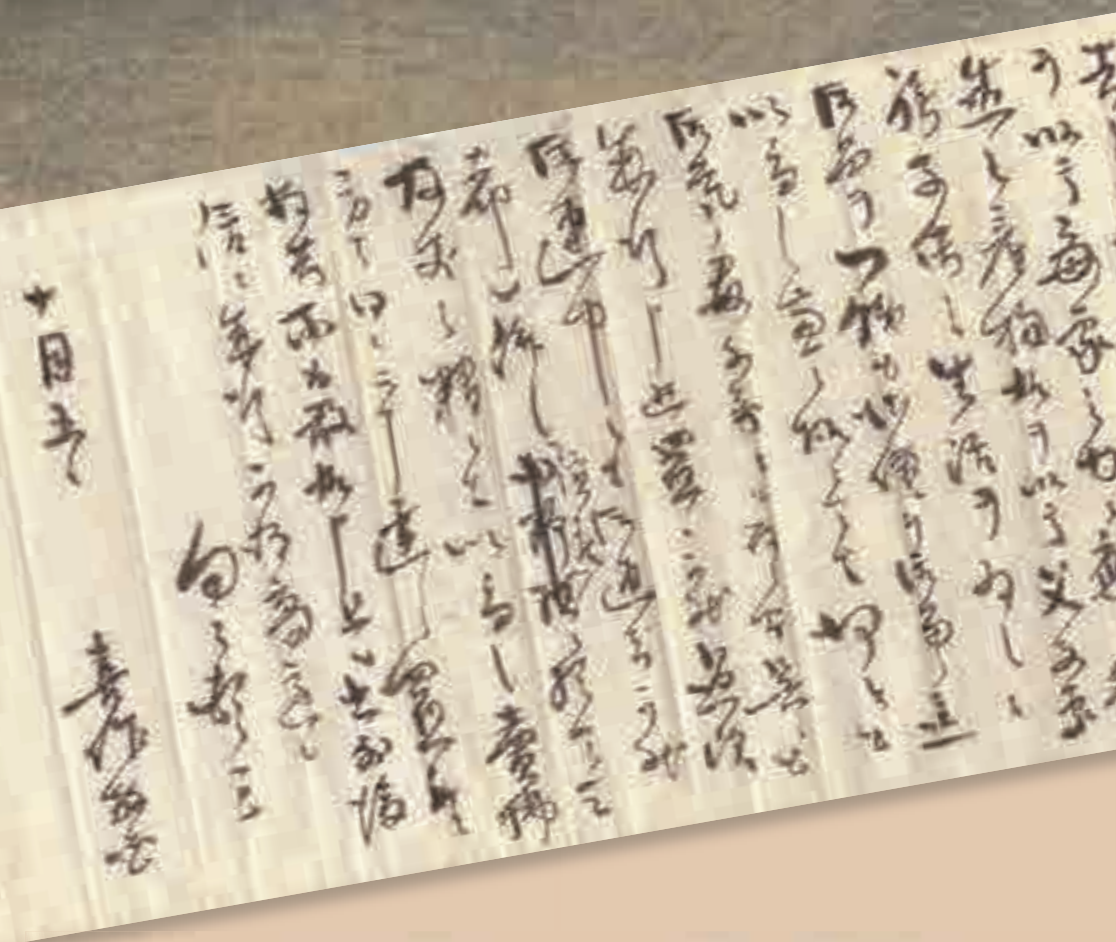


企画展

# 渋沢栄一と渋沢喜作の「明治」

— 渋沢家「新屋敷」文書から見えてくるもの —



2023年1月5日(木)~2月26日(日)



公益財団法人 渋沢栄一記念財団  
渋沢史料館  
Shibusawa Memorial Museum

〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1  
電話：03 (3910) 0005  
<https://www.shibusawa.or.jp>



渋沢喜作書簡 義弟・渋沢文作宛 (年未詳) 6月26日 澁澤家(「新屋敷」)所蔵

本展では、初公開となる澁澤家「新屋敷」文書をご紹介しますとともに、関係する当館所蔵資料もあわせ、郷里や人々との関わりをみながら、「明治」に向き合う二人の思いを探ります。

喜作は、武蔵国榛沢郡血洗島村(現在埼玉県深谷市)に生まれ、幕末、栄一と共に、尊王攘夷運動を行い、一橋家家臣を経て幕臣となります。栄一が渡欧する一方、喜作は国内において戊辰戦争を戦い、旧幕臣の二人は「亡国の臣」として「明治」を迎えます。その後、喜作は日本の産物振興に尽くしたいという思いを榮一に伝え、生糸などの取引を行う渋沢商店を横浜に開業し、栄一とも協力しながら多くの会社や団体の設立・育成を行い、実業界で奔走しました。書簡からは、喜作の人柄や、明治以降の喜作と生家の人々との関係がみえます。また生家での養蚕業をはじめとした家業や郷里周辺地域の産業が、栄一と連携した喜作の事業を通して、横浜貿易などとも結びつく様子も窺えます。

喜作は、武蔵国榛沢郡血洗島村(現在埼玉県深谷市)に生まれ、幕末、栄一と共に、尊王攘夷運動を行い、一橋家家臣を経て幕臣となります。栄一が渡欧する一方、喜作は国内において戊辰戦争を戦い、旧幕臣の二人は「亡国の臣」として「明治」を迎えます。その後、喜作は日本の産物振興に尽くしたいという思いを榮一に伝え、生糸などの取引を行う渋沢商店を横浜に開業し、栄一とも協力しながら多くの会社や団体の設立・育成を行い、実業界で奔走しました。書簡からは、喜作の人柄や、明治以降の喜作と生家の人々との関係がみえます。また生家での養蚕業をはじめとした家業や郷里周辺地域の産業が、栄一と連携した喜作の事業を通して、横浜貿易などとも結びつく様子も窺えます。

喜作は、武蔵国榛沢郡血洗島村(現在埼玉県深谷市)に生まれ、幕末、栄一と共に、尊王攘夷運動を行い、一橋家家臣を経て幕臣となります。栄一が渡欧する一方、喜作は国内において戊辰戦争を戦い、旧幕臣の二人は「亡国の臣」として「明治」を迎えます。その後、喜作は日本の産物振興に尽くしたいという思いを榮一に伝え、生糸などの取引を行う渋沢商店を横浜に開業し、栄一とも協力しながら多くの会社や団体の設立・育成を行い、実業界で奔走しました。書簡からは、喜作の人柄や、明治以降の喜作と生家の人々との関係がみえます。また生家での養蚕業をはじめとした家業や郷里周辺地域の産業が、栄一と連携した喜作の事業を通して、横浜貿易などとも結びつく様子も窺えます。

喜作は、武蔵国榛沢郡血洗島村(現在埼玉県深谷市)に生まれ、幕末、栄一と共に、尊王攘夷運動を行い、一橋家家臣を経て幕臣となります。栄一が渡欧する一方、喜作は国内において戊辰戦争を戦い、旧幕臣の二人は「亡国の臣」として「明治」を迎えます。その後、喜作は日本の産物振興に尽くしたいという思いを榮一に伝え、生糸などの取引を行う渋沢商店を横浜に開業し、栄一とも協力しながら多くの会社や団体の設立・育成を行い、実業界で奔走しました。書簡からは、喜作の人柄や、明治以降の喜作と生家の人々との関係がみえます。また生家での養蚕業をはじめとした家業や郷里周辺地域の産業が、栄一と連携した喜作の事業を通して、横浜貿易などとも結びつく様子も窺えます。



渋沢喜作 渋沢史料館所蔵



渋沢栄一 渋沢史料館所蔵

### 表面掲載資料

#### 渋沢義一結婚式記念写真(部分)

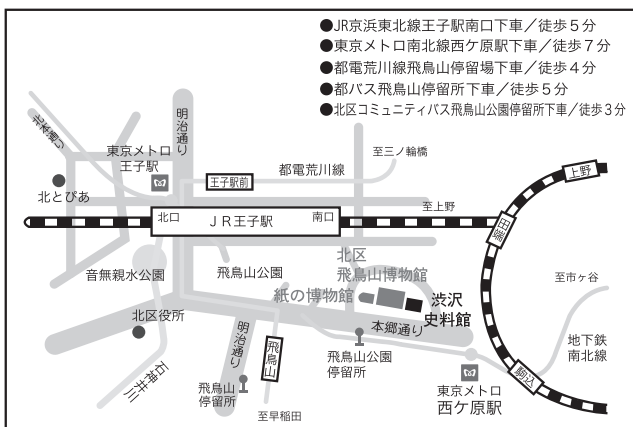
(明治44年4月1日 於 渋沢喜作白金今里町邸)

栄一(前列右から3人目)と喜作(前列左から3人目)と一緒に写る澁澤家(「新屋敷」)所蔵

#### 渋沢喜作書簡 父・渋沢文平宛(部分)

(年未詳)10月5日 澁澤家(「新屋敷」)所蔵

渋沢史料館は、新型コロナウイルス感染症拡大状況を考慮して、開館方法を定めています。詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。



- 開館時間：10:00～16:00 (入館は15:30まで)
- 休館日：1月9日(月・祝)を除く毎月曜日、1月10日(火)、2月14日(火)、2月24日(金)
- 入館料：一般 300円/学生(小中高) 100円  
飛鳥山3つの博物館 三館共通券 一般 800円/学生(小中高) 320円
- 新型コロナウイルス感染症拡大などの状況により、予定が変更となる場合があります。



公益財団法人 渋沢栄一記念財団  
**渋沢史料館**  
Shibusawa Memorial Museum

〒114-0024 東京都北区西ヶ原2-16-1  
電話：03 (3910) 0005  
<https://www.shibusawa.or.jp>